

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和7年 3月 15日

事業所名:放課後デイサービス ちやるむ

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			子どもの遊びによって使用スペースを分けるなど調整をしている。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○			基準以上の配置をしている。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○				
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			事前打ち合わせと療育後の振り返りを行っている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年アンケート調査を実施。いただいたご意見は、検討し改善をした内容もある。(送迎のこと等)	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			今年度12月に実施済み。評価結果は出次第公表を予定している。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に研修を行っている。今年度は不登校児童への支援について研修を実施	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			懇談記録や発達テストの情報、また課題に関する保護者のアンケートを元に計画を作成している	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	△			発達検査を実施。他所での発達検査結果の情報も得るようにし、心理士が分析、共有している	療育に当たる職員が共通理解でき、さらに共有化するためのチェックシートの作成や定期的な会議を実施できるよう善処したい
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			リーダーの職員を中心に、他職員の案も積極的に反映しながらチームで立案している	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			個々の子どもの課題やその時のコンディションを踏まえ、常に工夫している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			各集団に合わせて普段できないこと、行けない場所などを常に工夫、設定している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			原則は集団活動だが、その時々の子どもの要望を可能な限り尊重しながら個々に合わせた活動も行っている	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			当日は、特出すべき出来事、注意事項の共有。次回の始まるまでに、前回の振り返りを実施。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援の中で特出すべき点を端的に記録し、検証と次回への課題を明確にしている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		保護者には1年に1度聴取・見直し、職員間では6か月に1度見直しを行っている。	

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○				
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	△			会議への呼びかけがあれば参加している。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	△			保護者からの情報を受け取る、または学校からの問い合わせは受付、対応している。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/	医療的ケアが必要な子どもはいない。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			入所前に情報引継ぎ、確認を行っている。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	/	/	/	今年度、高校部立ち上げ、就労支援事業所の職員と共同で活動を行っている。	卒業生がまだいない。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			あゆみ園と連携している。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	△			公園などで交流がある	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			協議会主催の会合や研修会など機会があれば積極的に参加している。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			半期に一度、子どもの報告書を保護者へ提出、連絡ノートのみやり取りを実施。	職員体制によって連絡ノートの記入が難しい場合は、口頭またはメールにて保護者へ報告している。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			ペアレントトレーニングではないが、専門職と保護者との懇談の機会を設けたり、講演会等の情報は積極的に発信している。	要望があれば検討したい
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			毎年、説明の時間を設けている。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があれば心理士を中心として面談を行っている。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		要望があれば検討したい
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		△		苦情受付窓口を設け迅速に対応・整備しているが、子ども・保護者への周知は内容により判断している。	あまり苦情がないため、子どもや保護者に周知するまでは行っていないが、今後はすべての苦情を公開・周知していく方向。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			会報は発行していないが行事日程などは随時お知らせしている。	情報提供の時期をなるべく早くするよう心掛ける。
	35 個人情報に十分注意しているか	△				実績票のサイン間違いが1件あった。間違いがあればその都度改善に努めているがゼロには至っていない。さらに改善策を検討していく。

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		法人として事業所内でこども食堂を行っていたが、現在は中止となっている。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	△				保護者への周知はしていない。今後は災害時の避難経路などの掲示していくよう心がける。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			職員での訓練は定期的に行い、今年度も子どもたちも参加し地震時の避難訓練を行った。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			マニュアルを作成し委員会も設置。職員全員に対して研修を行っている。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			組織的に決定および保護者への事前説明、了解はいただいている。計画書への記載もしている。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者を通して医師の指示を確認している	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			療育前に必ず確認し、事例集を作成している。また職員間で定期的に事例集を周知し、確認することとしている。	